がん種　乳がん

レジメン名　ＥＣ療法（術前・術後）

番号	薬剤名	投与量	投与方法	投与時間	備考	投与日								
						1	2	3	4	5	6	7	…	21
1	イメンドカプセル	125mg	内服	60-90分前		○								
		80mg	内服	午前中			○	○						
2	生理食塩液	250ｍＬ	点滴静注		ルートキープ用	○								
3	生食注シリンジ	10mL	静注		投与前フラッシュ用	○								
4	アロキシ点滴静注バッグ	1袋	点滴静注側管	15分		○								
	デキサート注射液1.65mg	6管												
5	エピルビシン塩酸塩注射用	90mg/㎡	点滴静注側管	全開		○								
	生理食塩液	50ｍＬ												
6	注射用エンドキサン	600mg/㎡	点滴静注側管	30分		○								
	生理食塩液	100ｍＬ												
7	デカドロン４mg	2錠分1	内服	朝食後			○	○	○					

1コース期間
（次のコースまでの標準期間）　21日

総コース数　4コース

休薬規定及び減量規定、中止基準

〈エピルビシン：肝機能低下症例に対する減量の目安〉

T-Bil(mg/ｄL)		ＡＳ	EPI投与量
1.2～3.0	かつ	2～4×ULN	50%減量
3.1～5.0	かつ	＞2～4×UL	75%減量

〈エンドキサン：腎障害時の減量基準〉

ＧＦＲ(mL/min)	＜10
	25%減量

〈エンドキサン：肝障害時の減量基準〉

T-Bil 3.1~5.0mg/dL or AST>3×ULN	T-Bil>5.0mg/dL
25%減量	中止

Grade2以上の有害事象で減量あるいは休薬を考慮

●血液毒性

	／mm³
白血球数	＜3,000
好中球数	＜1,500
血小板数	＜75,000
	g／dL
ヘモグロビン	＜10.0

その他

＜エピルビシン＞

心毒性に留意し総投与量はエピルビシン塩酸塩として900mg(力価)/㎡以下とする。血管外漏出注意。

他のアントラサイクリン系薬剤など心毒性を有する薬剤による前治療歴のある患者には注意が必要。